



南小だより さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

平成29年6月30日

かしこい子 やさしい子 たくましい子

第4号

今月の生活目標 「健康にすごそう」

川越市立高階南小学校

言葉を大切に！（誤解を招く言葉に要注意）

新井 啓太郎

インターネットやスマートホン等の普及により、日々の連絡や情報交換のためのメールやラインの活用、SNSへの投稿やYouTubeの視聴等、小さな子どもでも、簡単にできるようになりました。

その反面、操作方法等十分な理解のないまま使用していたために起こった操作ミスや誤発信、安易な気持ちからのSNSへの動画投稿（世界中に配信される。二度と消せない）、言葉の使い方による誤解から始まったいじめ等、子どもたちの周りでは、トラブルが後を絶ちません。特にメールやラインでの言葉のやり取りによるトラブルやいじめは、普段からの子どもの言語環境が大きく影響しているようです。

遊びに来るといふ友達に、交通手段を聞くつもりで「なんでくるの?」と返信した児童が、翌日から仲間はずれにされたこと、お気に入りの洋服を着た写真をラインで流したのを見た児童が「～って、センスよくない。」と返信し、誉めたつもりでいたら翌日からライン外しにあい、誰も口をきいてくれなくなったこと等、様々な事例が新聞等でもよく取り上げられています。

直接会って話していれば、同じ言葉を使っても、多分トラブルにはならないのでしょう。しかし、文字にしただけで、逆の意味や違った意味に受け取れてしまうような言葉を、時や場に応じて使い分けることのできない子どもたちが当たり前のように使っているのが現状です。

これは、子どもたちの耳に入る言葉、つまり大人社会の言語環境の悪影響、大人の責任ではないでしょうか。私達教師も含めた大人が、言葉を大切に、子どもたちの手本となるような言語環境を作り上げていくことが大切であると考えます。学校では、言語活動の充実を図る中で、言葉を大切にする指導を進めています。ご家庭でも、子どもたちの言葉づかいやメール、ラインのやり取り等について、定期的に確認しながら指導していただければと思います。また、子どもの前での大人同士の会話にもご注意ください。



みんなと仲良く楽しく学べる～明るい教室～について

今月は、本校の合言葉～さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校～の、「明るい教室」についてお話しします。以下、6月のお話朝会で、児童に話した内容です。

「明るい教室」というのは、誰とでも仲良く協力して、明るく楽しく勉強したり、働いたりできる教室のことです。ですから、先生のお話を良く聞いて、集中して勉強すれば、必ず勉強ができるようになります。また、誰とでも仲良く協力できますから、いじめをする人はいません。もし、いじめをしようしている人がいても、みんなが協力して、力を合わせて止めさせます。いじめを絶対に許しません。それが「明るい教室」です。

他にも「明るい教室」には、こんな良いところがあります。○毎朝、先生や友達みんなと、さわやかなあいさつができる教室、○授業中、よい姿勢で、先生のお話を全員が静かに聞ける教室、○発表は手を挙げて、正しい言葉づかいのできる教室、○失敗したり間違えたりしても、励まし合える教室、○当番活動や係活動は、決まりを守ってきちんとできる教室、まだまだ他にもたくさん良いところがあるのが「明るい教室」です。

校長先生が全部の教室を回って見て思ったことは、みなさんの教室もみんな「明るい教室」だということです。ただ、もっともっと仲良く協力して、楽しく勉強できる教室に、パワーアップできるなど感じる教室もあります。さあ、皆さん、先生や教室のみんなと、どうすればパワーアップできるか、考えてみてください。高階南小学校の全ての教室が、みんなが大好きな「明るい教室」になることを願っています。

